

みずほCustomer Desk Report 2019/07/26号(As of 2019/07/25)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.22
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	108.20	1.1142	120.53	1.2486	0.6978
SYD-NY High	108.75	1.1188	121.38	1.2518	0.6984
SYD-NY Low	108.04	1.1101	120.06	1.2438	0.6943
NY 5:00 PM	108.64	1.1147	121.09	1.2452	0.6954
NY DOW	27,140.98	▲ 128.99	日本2年債	-0.2100	0.00bp
NASDAQ	8,238.54	▲ 82.96	日本10年債	-0.1500	0.00bp
S&P	3,003.67	▲ 15.89	米国2年債	1.8670	4.71bp
日経平均	21,756.55	46.98	米国5年債	1.8610	4.70bp
TOPIX	1,577.85	2.76	米国10年債	2.0819	3.31bp
ソコ日経先物	21,625	▲ 120	独10年債	-0.3640	1.55bp
ロンドンFT	7,489.05	▲ 12.41	英10年債	0.7090	3.15bp
DAX	12,362.10	▲ 160.79	豪10年債	1.2485	▲ 4.40bp
ハンセン指数	28,594.30	70.26	USDJPY 1M Vol	5.55	▲ 0.34%
上海総合	2,937.36	14.08	USDJPY 3M Vol	5.94	▲ 0.17%
NY金	1,414.70	▲ 8.90	USDJPY 6M Vol	6.18	▲ 0.10%
WTI	56.02	0.14	USDJPY 1M 25RR	-1.00	Yen Call Over
CRB指数	177.88	▲ 0.34	EURJPY 3M Vol	6.36	▲ 0.01%
ドルインデックス	97.82	0.09	EURJPY 6M Vol	6.77	0.08%

【昨日の指標等】

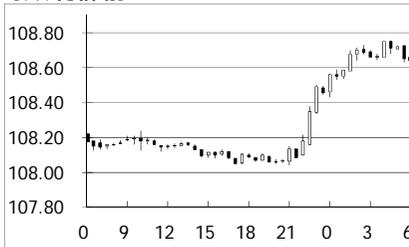
Date	Time	Event	結果	予想
7月25日	17:00	独 IFO指数(企業景況感/期待/現況)	7月 95.7/92.2/99.4	97.2/94.0/100.4
	20:45	欧 ECB理事会 ECB主要政策金利	-	0.00%/0.25%/-0.40%
	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	6月 2.0%	0.7%
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器・前月比)・速報	6月 1.2%	0.2%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	206k

【本日の予定】

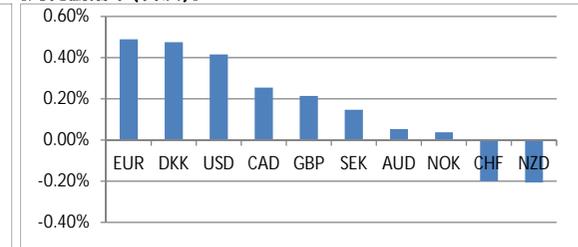
Date	Time	Event	予想	前回
7月26日	21:30	米 GDP(年率/前期比)	2Q 2.0%	0.9%
	21:30	米 個人消費	2Q 4.0%	0.9%
	21:30	米 17PCE(前期比)	2Q 2.0%	1.2%

東京	東京時間のドル円は108.20レベルでオープン。午前中に108.24まで上昇するも、その後はECB理事会や月末FOMCでの追加緩和期待を背景に上値重いの推移となり、結局108.10レベルで海外時間に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は108.10レベルでオープン。ECB理事会を控え横ばい推移に終始した。結局108.14レベルでNYへ渡った。ロンドンでは1.2477レベルでオープン。朝方は新規材料に欠けるなか、方向感なく推移。しかしその後、ECB理事会前にユーロ買いドル売りが一時的優勢となったことで、ドルが連れ高となり、一時1.2507まで上昇する局面もあったが、すぐ反落。結局、1.2485レベルでNYへ渡った。(ロンドン・ルブリ- 00531 444 179 マルビル)
ニューヨーク	ドル円は108.14レベルでNYオープン。朝方は米新規失業保険申請件数が予想を下回り、耐久財受注が前回分が下方修正される一方、6月分が予想を上回ったことから、ドル円はやや上昇する。これと同じ頃に開始されたドラギECB総裁の記者会見では、「景気見通しは悪くなる一方」「ECBは利下げバイアスがある」等、予想通りハ派な発言が続くものの、実際の利下げや、量的緩和の実施時期についての言及はなく、「リセッションのリスクは依然としてかなり低いと見ている」等思ったほどハ派でないとの見方から、ユーロ円が上昇する動きにドル円も連れて108.50まで上昇する。しかしこのレベルでは売り意欲は強く、やや下押しするものの、リセッションのリスクが低いとの発言を受け、リスク回避の動きが後退し、米金利が上昇する動きに、ドル円は108.50を抜けると、ショートカバーが更に強まり、午後はじり高推移が続き、一時108.75を付け、108.64レベルでクロスした。一方、ユーロドルはECB理事会で金融政策の変更がないことが発表される一方、声明文で現水準かそれ以下の金利を必要限り継続することが発表され、よりハ派な内容となったことから1.1113まで下落し、1.1115レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ1.1101まで下落するが、利下げの時期について等の発表がなかったことから差し迫ったものではないとの見方にユーロドルの買戻しが持ち込まれ、1.1188まで戻す。しかし欧州の景気見通しに対する不安視が継続する中、戻り売りに1.1126まで反落する。終盤に掛けては狭いレンジの推移が続き、1.1147レベルでクロスした。(NY井上)

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.00-109.00	1.1100-1.1200	120.40-121.60

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は上昇。序盤はECB理事会を控えて動意薄の推移となったが、ドラギECB総裁の会見が想定よりもハト派寄りでなかったことを受け、過度の早期利下げ観測が後退、独長期金利・米長期金利の上昇とともにドル円は上昇。108.50台を上抜けた後はじり高に推移し、一時108.75まで上昇した。本日のドル円は月末のFOMCを控えて様子見ムードが強まるものと思われる。FOMCによる7月の利下げ幅を予想する上で本日の米第2四半期GDPの発表に注目したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原・森谷